

第7回脳科学研究倫理審査委員会 議事録

1. 開催日時：平成21年12月3日（木） 13:00-15:20
2. 開催場所：JST 東京本部 役員会議室（10階）
3. 出席委員：杉下委員長、浅川委員、田中委員、田村委員、二木委員、広瀬委員、谷田部委員
(委員 50音順)

4. 議題

1) ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト「情動に関する生理反応および表出行動の解明」

概要；情動情報を言語と同様にある種の規則性（syntax=構文、文法）をもって伝達されるものであると捉え、情動と関連した生体反応（中枢神経系活動、末梢神経系活動、音声情報、表出行動、心理状態など）を多角的に計測・解析することによって、情動情報の計算科学的な符号化モデルを構築することを目指す。

人間の情動喚起時における生理反応および身体表出をいくつかの実験場面で計測する。計画は計測する指標に応じて2つある。1つは、音楽聴取場面／視覚刺激提示場面／コミュニケーション場面で専用の計測機器を使って自律神経系反応（心拍、皮膚電気活動、呼吸）および顔面筋反応を計測するものである。もう1つは、モーションキャプチャを使用して情動表現場面／コミュニケーション場面での身振り手振りなどの身体表出の速度等を計測する計画である。

結果；審議未了となったため、委員会後の委員長の指示により次の経緯を経て承認となった。

- ① 申請者より提出された修正資料について以下の指摘事項があった。
 - ・研究内容の妥当性に関わる説明が不十分である。
 - ・JST と理研との2つの責任体制下で実施することにつき、現場での方法を具体的に明確化すること。
 - ・被験者に異常が見つかる可能性が低いのであれば、同意書は低いことを含む文章にすること。
- ② 再修正資料についての指摘事項
 - ・申請者が提唱するモデルについての説明が不十分。
- ③ 再々修正資料についての指摘事項
 - ・研究内容についての追加説明が必要である。
- ④ 「研究審査委員会の中間報告の審査において、研究成果を見極めること」を条件に本研究計画の実施を可としても差し支えないと判断した。（平成22年4月26日）
上記内容を理事長へ答申する。

以上

平成21年12月3日
理事長名

脳科学研究倫理審査委員会の構成

委員長	杉下 守弘	新潟リハビリテーション大学院大学 副学長
委員	浅川 茂樹	独立行政法人理化学研究所 基礎基盤研究推進部仙台研究推進室
委員	田中 里枝	独立行政法人科学技術振興機構 岩田ヒト膜受容体構造プロジェクト技術参事
委員	田村 京子	昭和大学富士吉田教育部 准教授
委員	内藤 貞夫	内藤貞夫法律事務所 弁護士
委員	眞峰 隆義	独立行政法人科学技術振興機構 理事
委員	谷田部 雅嗣	日本放送協会 解説委員

(委員 五十音順)